



2005. January 1月号

発行日:平成17年1月1日

発行:東京税理士会
情報システム委員会

題字「情報通」:金井塚 清(豊島)

税理士情報フォーラム`04冬 **速報**

デジタル化、かけ声かけて鍵かけて おーいっ出番ですよ、先生!e-Tax

●開催日時 平成16年12月17日(金)午前10時00分より午後5時00分 ●場 所 税理士会館4階大会議室 ●主 催 東京税理士会情報システム委員会

熱気あふれるイベントでした。年末の情報フォーラムはもはや恒例行事となってきましたが、今回のフォーラムは、e-Taxをいよいよ活用するという意味で、会員自身の所得税確定申告を目前に控えた時期の開催ということから、会場一杯の参加者の真剣な眼差しは、これまでにない印象がありました。また、この雰囲気からは税理士がe-Japanを主導するんだという意気込みが感じられました。ご挨拶をいただいた国税庁情報技術室システム研究官梅田直嗣様や東京国税局総務部企画課長大下雅夫様も私たち税理士へ強い期待を寄せていました。

また今回のフォーラムでは、e-Taxの活用に加えそのセキュリティを確保するPKIの具体的な活用法の提案にも及ぶ内容の濃いイベントが行われました。その概要を下記に速報します。

午前の部:e-Tax説明会-e-Tax攻略ビデオ全5巻上映

まず、このビデオについて制作者から思いの丈を・・・『日税連から名古屋会チーム手引書、国税庁からは「イータ君」ビデオと、e-Tax普及用教材が提供されていますが、会員が「ヤル気になった」という気配は感じられません。網羅性の高いよい教材だけに難しく、選択肢が多くて迷ってしまうのではないのでしょうか。そこで、驚異のビデオマニュアル作りしました。コンセプトは高橋名人スーパーマリオ攻略ビデオです。実機、リアルタイムにこだわった、この通りにやればできるというビデオです。短期間製作、低予算のため、私、森谷(情報システム委員会担当常務理事)主演ですが、ナレーションは大物女優を起用しているので出来映えには自信があります。お手持ちのパソコンにデータとして取り込み、画面に小さめに映像を再生しながらe-Taxに取り組めば、あっという間にe-Tax完了という寸法です。そうすると、画面も小さくなるので、私のアップも見苦しくないという親切設計も見逃せません。これを見ても出来なかったら・・・それは貴方のやる気が無いからだっ! (断言)』

さて、フォーラムVTR上映当日はというと、この熱いメッセージが伝わったかのようで、来場者は各巻とも真剣な面持ちで鑑賞していました。また、大変好評につき、全5巻収録DVD(又はCD-ROM)を各支部事務局に配付予定としておりますので、今回お見逃しの方は乞うご期待。

午後の部:第1部 会員サービスもデジタルで-電子申告時代における参加型会員サービスの提案

e-Japan戦略では、税理士会会務の電子化も法的に要請されているところがあります。その対応策や関連性を含むこととして次のような各種提案を行いました。

- ◆集合型研修の限界とその解決方法の構想、Webによる研修履歴管理の提案
- ◆研修のリアルタイムインターネット配信の可能性を探る。
- ◆会務におけるセキュリティとICカードを使ったPKIセキュリティの必要性
- ◆日税連電子化と単位会のあるべき姿、東京会認証局構築の提案
- ◆総会委任状システムの提案-税理士ICカードの新しい利用方法の模索など

少々固い内容ではありましたが、明日の税理士界を垣間見せてくれた大事なお話でした。



第2部 あなたもわたしもデジタル事務所-電子申告がサッと出来る事務所を目指して

- セキュリティの確保・・・渡る世間は鬼だらけ? 「これで安全、安心」ソフトの紹介と心がけ。WindowsのUpdateとウィルスソフトのこまめな更新こそがセキュリティの基本だとのこと。当日配付しましたソフト一覧は、暫く大事にとっておきましょう。
- パソコンの管理・・・業務用にはWindowsOSはxp Home editionよりProfessionalの方が望ましい。煩わしいが利用者ごとのパスワード管理が基本。IDマネージャ、指紋認証システムなど便利なソフトが出てきました。データのバックアップについては、毎日実行することが基本。そうすれば1回は短時間で済むとのこと。「イージーサーバー2」や「スタンドバイディスク」などを紹介した。
- 秘密兵器登場・・・文書管理について、この値段でここまでできるのか! 安価で優れたパフォーマンスに会場の目が釘付け。「DocuWorks5.0 + ScanSnap + Adobe Acrobat6.0;直納★」の離れワザ! とにかくコストパフォーマンスがすごい! 文書検索については、サーチクロス、コンセプトサーチなどのソフトの紹介がありました。

税理士は情報産業だ!

紙、デジタル、媒体はともかく私たち税理士の事務所には関与先に関する各種の情報が集まって来ます。しかもそれらは通常かなり秘匿性が高いものばかりです。最近「Pマーク(プライバシーマーク)」とか「個人情報保護法」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか? 巷間言われているところを聞くとどうも私たち税理士と無関係なことではないようです。更に私たちの関与先などでは、業種によっては「Pマーク」を持っていないとそもそも取引の土俵に乗せてもらえないおそれもある。とも言われています。目下のところ、取得したISOのライセンスを名刺に刷り込むのが流行りとなっていますが、どうも次は「Pマーク」か? の印象があります。そこで情報通では「税理士は情報産業だ!」のコンセプトのもと、今月号から3回シリーズでこの辺の話題を取り上げてみたいと思います。

全3回シリーズ 税理士は情報産業だ!!

- 第1回 すべての情報は税理士の手の中に
- 第2回 税理士と個人情報の微妙な関係
- 第3回 やっぱり大事情報セキュリティ

第1回 すべての情報は税理士の手の中に

◆e-japan戦略と税理士

2004年6月よりe-taxが2005年1月よりeLTAX(東京都は2005年8月より開始予定)が始まり、我々税理士業界にも本格的にIT化の波が押し寄せてきました。e-taxもeLTAXも平成13年1月より始まったe-japan戦略に掲げられた電子政府実現の一環です。

(右頁へつづく)

(左頁から)

e-japan戦略では、基本戦略で目指すべき社会として

- 1.すべての国民が情報リテラシーを備え、地理的・身体的・経済的制約等にとらわれず、自由かつ安全に豊富な知識と情報を交流し得ること、
- 2.自由で規律ある競争原理に基づき、常に多様で効率的な経済構造に向けた改革が推進されること、
- 3.世界中から知識と才能が集まり、世界で最も先端的な情報、技術、創造力が集積・発信されることにより、知識創発型社会の地球規模での進歩と発展に向けて積極的な国際貢献を行なうことをあげています。

このような社会が実現されていけば、我々の業務もそれに伴って変化していかざるを得ません。なぜなら、我々のクライアントである企業は、競争に勝ち、利潤をあげるために、IT化を進めているからであり、IT化を進めていくことで、我々の業務も効率的になるからです。

例えば、遠隔地の取引先に月次の会計データを毎月交通機関を利用して受取りに行っていたとします。しかし、安価な郵便や宅配便などでデータのやり取りが済むのであれば、時間の短縮とコスト面から、郵便や宅配便を使用することになるでしょう。さらに、安価な通信ネットワークが整備され、電子メールなどでデータのやり取りが済み、より一層時間とコストが軽減されることになれば、電子メールを利用することになると思われれます。

通信手段を始めとした情報システムというインフラが安価で提供されたとしても、全てのデータのやり取りが電子メールなどで済むことはありません。必要に応じて直接クライアントと会うことはいくら電子メールなどが安価になってもなくなることはありません。しかし、効率性を考えれば、直接会ってデータのやり取りを行う頻度は減っていくと考えられます。

◆情報と税理士

ITは、Information Technology 情報関連技術の略語で、あくまでも技術でしかありません。また、情報は、データ+意味と言われるように、意味があって初めてその用をなします。

我々は、業務として会計データに会計学や税法という意味を加えて情報としてクライアントに提供しています。その情報の処理、提供の仕方がコンピューターを中心とした技術の進展によって紙媒体から電子媒体に変わりつつあるだけに過ぎません。クライアントに提供する情報が変わったわけではありません。

ただ、IT化の進展によって提供する情報の内容は変わってくると思われれます。

従来、我々士業では、一般の方の持っていない専門的な情報を持っていました。専門的な情報を得る手段は、専門書等その入手にコストも時間もかかるものでしたが、e-japan戦略との関係もあり、国や地方自治体の情報

公開が進み、専門的な情報の入手が容易になってきています。また、情報ソースにアクセスするコストも安価になってきています。

専門的な知識がなければ、入手した情報を正しく利用することはできませんが、士業においても従来に比べ、ますます多くの情報を入手し、的確に利用することが求められるようになっていくでしょう。

保有する情報の量が多くなれば、その管理も従来とは異なるものが必要になってきます。紙媒体では、例えば1,000件のクライアントの申告データを持ち出すことは、重量からしてもかなり大変なことです。電子媒体であれば、わずか数グラムの電子媒体に記録させて移動させることが可能になります。

このように電子媒体は、紙媒体と異なり、移動が容易で保管スペースが少なく済み、また、データベースを適切に設計すれば検索も容易になるというメリットがありますが、その反面、移動が容易であるため、持ち出し、盗難等への対処が必要で、見読性や長期保存への対処が必要になるというデメリットもあります。

我々が業務の中で扱っている情報には、非常にセンシティブな情報も多く含まれています。例えば、年末調整を行う場合、年末調整対象者本人の氏名、住所、年齢、配偶者及び扶養家族の同様の情報、障害に関する情報等他人に知られたくない情報も多く含まれています。

IT化の進展と共に、このような情報は紙媒体から電子媒体へと処理の形態が変わってくるようになるとその管理方法が問題となってくることになり

では、その管理はどのようにしなければならぬのでしょうか？

e-Tax活用に関するご案内

e-Taxを利用する場合、はじめに所轄の税務署に「電子申告・納税等開始(変更等)届出書」を提出する必要があります。

同届出書がお手元がない場合は、下記URLにアクセスの上、PDFファイルでダウンロードできますので各自でプリントアウトし入手して下さい。

また、プリントアウト等が出来ない場合は所轄の税務署へお問い合わせ下さい。

①国税庁「国税電子申告・納税システム(e-Tax)ホームページ」内
<http://www.nta.go.jp/category/yousiki/denshi/annai/001.htm>

②税理士情報フォーラム'04冬イベント用ホームページ内
<http://www.tokyozeirishikai.or.jp/zif/>

→同ホームページ内、左側メニュー「1.e-Tax準備のための5つのポイント」の「その4. 所轄の税務署に電子申告開始届書の提出」に掲載されています。

なお、e-Taxソフトは1月中旬に同開始届出書を提出すれば、2月中旬頃にはお手元に届く予定です。

電子申告への対応については右記URLをご参照下さい。 <http://www.tokyozeirishikai.or.jp/zif/>

東京税理士会会員向け IT研修会のご案内

東京税理士会情報システム委員会

1. IT研修・研修内容及び費用

① Word入門 全6時間

【内 容】パソコン操作の基本となる文字入力、変換、文書編集、保存、印刷の基礎を習得する。
【受講の基準】日本語入力やマウスの操作も含めて、まったくパソコン操作経験のない方向けの研修(※1)
【費 用】13,650円(受講料・教材費・消費税込み)

② Excel入門 全6時間

【内 容】表計算の基本となるデータ入力、表作成、四則計算、関数計算、グラフ作成、保存などの操作を習得する。
【受講の基準】パソコンを利用して日本語入力やマウス操作はできるが、Excelなど表計算機能は経験のない方向けの研修(※1)
【費 用】13,650円(受講料・教材費・消費税込み)

③ インターネット入門 全3時間

【内 容】インターネットの利用方法、ホームページ検索、閲覧、電子メールの送受信方法を習得する。
【受講の基準】パソコンを利用して日本語入力やマウス操作はできるが、電子メールとインターネットは経験のない方向けの研修(※1)
【費 用】10,500円(受講料・教材費・消費税込み)

④ セット講座(全4コース)

【内 容】上記、① Word入門、② Excel入門、③ インターネット入門を組み合わせて受講し、パソコンの一般的な操作方法を習得する。
【受講の基準】① Word入門、② Excel入門、③ インターネット入門と同様。
【費 用】A: ① Word入門+② Excel入門・・・25,200円
B: ① Word入門+③ インターネット入門・・・21,000円
C: ② Excel入門+③ インターネット入門・・・21,000円
D: ① Word入門+② Excel入門+③ インターネット入門・・・35,700円
(受講料・教材費・消費税込み)

※1・・・受講の基準は、目安に過ぎないので、自由にご希望の研修をお申込できます。
この他にも、中野キャリアスクールによる「しっかりマスターコース」など、もっと勉強されたい方向けのコースもあります。ここで紹介している研修の受講を希望される方は、本会事務局業務研修課までTELまたはFAXでご連絡下さい。折り返し、申込み手順、研修教室地図等について詳細な内容を記載した「IT研修案内文書」をご希望のFAX宛に送付いたします。

◆◆会員向けIT研修の申込みについて◆◆

パソコン等の研修事業を実施している「中野キャリアスクール」の協力のもと、主にパソコン操作方法等に関して初心者を対象とした「会員向けIT研修」を開催しております。ここで紹介している研修の受講を希望される方は、本会事務局業務研修課までTEL又はFAXでご連絡下さい(書式は何でも結構です)。折り返し、申込み手順、申込み用紙、研修教室地図について詳細な内容を記載した「IT研修案内文書」をご希望のFAX宛に送付いたします。

東京税理士会事務局業務研修課 連絡先 TEL 03-3356-4471 FAX 03-3354-8360

2. 研修日程表及び研修場所について

① Word(6時間)コース

曜日	月・火曜日		水曜日	
	時間	*1日3時間ずつ実施し、2日間(月、火)通うコースです。 17:00~20:00		*1日6時間実施するコースです。 10:00~17:00(1時間休憩)
場 所	高田馬場	京王八王子	高田馬場	(ご注意) Word入門は、銀座校では実施いたしません。
月	実施日	講座NO.	実施日	
2月	14日・15日	19 49	16日	
3月	7日・8日 14日・15日	20 50 21 51	19日	
			71	

② Excel(6時間)コース

曜日	水曜日	
時間	*1日6時間実施するコースです。 10:00~17:00(1時間休憩)	
場 所	高田馬場	
月	実施日	講座NO.
2月	23日	111
3月	23日	112



③ インターネット(3時間)コース

曜日	水曜日		金曜日	
	時間	*夕方から実施するコースです。 17:00~20:00		*午後から実施するコースです。 13:00~16:00
場 所	高田馬場	京王八王子	高田馬場	銀座
月	実施日	講座NO.	実施日	講座NO.
2月	19日	221	18日	249
3月	9日	222	11日	250
	16日	209	18日	251
			18日	279
			11日	280
			18日	281